

サヘル地域における違法なトラフィッキングと闘うための 包括的かつ持続可能な戦略のためのパートナーシップに関するディナール宣言

サヘル地域の状況について議論し、我々は、薬物、小型武器（S A L W）の違法取引、人身取引、並びに移民の密輸について、特にこのような犯罪行為が不安定さと腐敗を刺激し、法の支配と平和に向けた努力を危険にさらし、テロ組織の温床を生み出し、及び人道状況の悪化に寄与することを踏まえ、このような行為に対応する差し迫った必要性について一致した。犯罪集団の影響は、合法的な経済の中で生活する人々に対してより良い機会を生み出そうとする国家の及び国家間の取組を損なう。

麻薬とS A L Wの違法取引との闘いは、テロリズムとその資金に対する闘い、及びマリ和平・和解合意の履行と関連付けられた課題である。加えて、サヘル及び北アフリカ移民は性的売買や強制労働を含む、様々な形態の人身取引に対して脆弱となり得る。

いくつかの協力プログラムが実施されているが、課題の大きさ、能力不足、脆弱な地域での国家当局の限られたプレゼンス、及び、国際的な支援についての協調強化と監視維持の必要性により、その効果はこれまでのところあまりにも限定的である。

トラフィッキングに対する闘いの多角的側面により、統合された地域的開発と、西アフリカの地域をまたぐダイナミクスを考慮した安全保障上の対応が求められている。

したがって、我々は、サヘル地域における薬物、S A L Wの違法取引及び人身取引と闘うため、包括的及び持続可能な戦略のための新たな政治的パートナーシップのイニシアティブを立ち上げることを決定した。

共同パートナーシップの参加者として、我々は、以下にコミットする。

- 国際的に認知されたスタンダードや原則に従って、より広範なサヘル地域における麻薬及びS A L Wの違法取引、人身取引及び移民の密輸に関する国境を越える犯罪ネットワークとの闘いにおいて、我々の二国間及び多国間の協力（オペレーション及び能力構築の双方）を促進するため、G 5 サヘル諸国に更に関与する。

- 包括的な安全保障と開発パートナーシップを強化し、それによって、G

5 諸国が、法執行に集中し、犠牲者の保護と支援を含む効果的な刑事司法による対応を確保しつつ、国家の、及び、地域の行動計画について責任を持つようにする。加えて、国際的及び地域的ステークホルダーやドナーは、特により良い協調を通じて、この取組を支援するための資源を提供する方法を模索し続けることにコミットする。

- 統合された国境管理、インテリジェンス（犯罪分析能力を含む）、マネーロンダリング及び汚職対策メカニズム、及び捜査の過程で違法な資金を探知し、没収するための法律上及び運用上のツールを支援しつつ、法執行及び司法システム（「刑事面でのつながり」）を強化し続けるため、ECOWASに加盟する有志国や、特に、国連、AU及びEUを始めとする全ての関係する国際的ステークホルダーと連携し、行程表、目的、及び、評価指標を含むG5サヘルのためのロードマップ策定を支援する。

- 共通の安全保障上の脅威、特に、違法取引との闘いにおける各国の努力を集約し、増大させるためのG5の役割と能力を強化する、G5サヘル和平・安全保障イニシアティブ（特に、サヘルにおけるG5地域安全保障協力プラットフォーム（PCMS）、サヘル安全保障大学、G5サヘル防衛大学）を賞賛する。

- より広範なサヘル地域におけるSALW管理に関するG7-AUイニシアティブの枠組において、2020年までに、アフリカにおいて銃を封じ込めるための実際的なステップのアフリカ連合マスター・ロードマップの実施を奨励する。

- 特に、サヘルにおけるG5地域安全保障協力プラットフォームの文脈に加え、G5サヘル共同軍とその警察部門の運用化の枠組みにおいて、より効率的なG5サヘルの警察及び防衛能力を構築することを支援するために、民間の危機管理ミッション（EUCAPサヘル・マリ及びEUCAPサヘル・ニジェール）を通じたものを含むEUとの協調、国際刑事警察機構との協調、及び、国連（UNDOCを含む）との協調の強化を促進する。

- 特に、中央当局及び検察官の西アフリカネットワーク（WACAP）を再活性化することを通じ、国家機関だけでなく地域協力を強化する目的をもって、安全保障、ガバナンス及び開発のための努力の礎となる、司法の支配的な重要性を強調する。